

現計画を踏まえた官民を挙げた取組成果

国 土 交 通 省
土 地 ・ 建 設 産 業 局
建 設 市 場 整 備 課

「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」の策定以降（平成26年8月22日策定）、建設業団体及び国土交通省において、様々な自主的な取組みが実施されてきた。

- ◆業界団体においては、自主計画を策定するなど女性活躍の取組を推進。職場環境の改善などに向けて、様々な取組みを実施。
- ◆国土交通省においては、建設産業女性活躍ネットワークを構築し、各地の女性活躍の取組を全国的なものとするべく支援を行っている。また、直轄工事における快適トイレの設置の原則化をはじめ、現場環境改善にも取り組んでいる。
- ◆官民が一体となって、女性活躍や建設業の魅力、やりがいに関する情報発信、担い手確保の取組を実施。
- ◆女性技術者・技能者の5年以内の倍増という目標については、技術者は倍増に近い成果が上がっている。技能者については目標達成が厳しい状況だが、建設技能者の全体数が減少している中で、女性技能者数が増加しており、一定の取組成果はあがっているといえる。

官民で目指す目標

- 女性技術者・技能者の5年以内の倍増を目指す
（建設業で活躍する女性を、平成26年の技術者1.1万人、技能者8.7万人の計10万人から、5年以内に技術者2万人、技能者18万人の計20万人に倍増させる。
→平成30年で女性技術者は1.8万人、女性技能者は10.4万にまで増加。

1. 建設業に入職する女性を増やす

- (1) 業界団体や企業における女性採用等に係る目標設定や意思表示
- (2) 企業や業界に関する理解の促進
- (3) 魅力、やりがいの発信、団体の女性活躍に正しいイメージの定着
- (4) 建設業への入職を促す土台となる環境づくり

<建設5団体及び国交省の取組>

(日建連)

- 2014年3月に「女性技能労働者活用のためのアクションプラン」、同年8月に「もっと女性が活躍できる建設業を目指して－日建連の決意－」を発表
- けんせつ小町委員会の発足・運営
2015年4月、建設業界における女性活躍を推進するための委員会を発足。
- けんせつ小町活躍推進表彰
建設業で働くすべての女性の活躍推進に資する活動を表彰。
2015年度より実施。

(全建)

- 2015年3月「建設業における女性の活躍の場の拡大へのロードマップ」を策定

(建専連)

- 女性活躍推進対策
会員団体において女性を中心とした部会を設置、運営。
※この他にも各団体において機関決定を経て、女性活躍推進に向けた取組を展開。

平成26年3月20日
建設5団体 日本建設業連合会

女性技能労働者活用のためのアクションプラン

目標
女性技能労働者数について **5年以内に倍増を目指す。**

実施事項
会員会社は、専門工事業者、協力会社などと連携しつつ、次の事項に積極的に取組む。

- 1 建設業界には女性技能労働者が活躍できる職種が多数あり、女性の入職を歓迎することを積極的にアピールする。
- 2 現場において女性が「安心して使用できるトイレ」の設置などの環境整備に最大限配慮する。
- 3 現場において時差出勤、帰宅制度などの出産や子育てをサポートするための制度を導入する。
- 4 女性現場監督を拡充する。
- 5 女性を主体とする「なでこ工事チーム」などを設け活用する。
- 6 協力会社が女性技能労働者を雇用・育成するための支援を行う。

	技能労働者数 (万人)		女性技能労働者の割合
	女性	男女計	
建設業	9	337	2.7%
製造業	195	657	29.7%
全産業	340	1,547	22.0%

総務省「労働力調査(2012)」より算出

日建連「女性技能労働者活用のためのアクションプラン」

建設業における女性の活躍の場の拡大へのロードマップ

～建設業に働く女性の倍増を目指して～

平成26年4月22日国土交通大臣と建設業団体との間で「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」が策定された。行動計画では、①建設業に入職する女性を増やしつつける職場環境を作る②女性がさらに活躍しスキルアップできる環境を整える③建設業での女性の活躍を広く社会に発信することとされた。

全建においては、平成26年度事業計画において「女性の活躍の場の拡大等」を重点事項として位置づけ、そのためのロードマップを作成すべく、労働委員会のもとに「建設業の若い手確保・育成ワーキンググループ」を設け、3回にわたり協議を重ね、10月の地域懇話会で議論を深めた。一方、会員企業調査でデータを収集し、11月には、「女性の活躍応援フォーラム」を開催するなどの検討準備を進め、労働委員会の2回の審議を経て、理事会においてとりまとめるものである。

全建が平成26年9月に実施した協会傘下会員企業の女性職員の在職状況調査によると職種別では、技術者・技能者の数は少数にとどまっている。比較的数の多い事務職においても管理職登用が顕著となっている。

女性の少ない現状を改善し、建設現場に女性が積極的に参加し、生き生きと働くために、本ロードマップは、上記の成果を踏まえ、もっと女性が活躍できる建設業を実現するための道筋を示すものである。

全建「建設業における女性の活躍の場の拡大へのロードマップ」

2. 働きつづけられる職場環境をつくる

- (1) 働きやすい現場の労働環境の整備
- (2) 仕事と家庭の両立環境の整備

<建設5団体及び国交省の取組>

(日建連)

- 「現場環境整備マニュアル」作成
2015年4月に「『けんせつ小町』が働きやすい現場環境整備マニュアル」、同年10月に 同マニュアルのチェックリスト作成。2019年1月にはWEB版の簡易チェックリストを作成。
- 「女性活躍推進に関わる会員会社の制度関係の事例」を公開
会員企業の「年次休暇」、「育児中の就業・休暇制度」、「育児支援制度」、「介護制度」などの事例を公表。



日建連「現場環境整備マニュアル」

(国土交通省)

- 地域ぐるみでの女性活躍推進
地域の行政・団体・企業等が連携し、女性交流ネットワーク構築など女性活躍応援活動を支援。
- 女性が働きやすい現場をハード面から環境整備
快適トイレの標準仕様を決定し、事例集を公表（H28年9月）
直轄工事における快適トイレの設置を原則化（H28年10月以降入札工事より）
- 建設業での女性活躍に関する各企業の意識・取組状況について実態調査を実施（H27年12月）
- 女性が活躍する現場での取組を紹介する事例集を作成し、情報を発信（H27年10月）
- 地域ブロック単位で経営者等による意見交換会を実施

3. 女性が更に活躍しスキルアップできる環境を整える

- (1) 現場での女性の登用促進
- (2) 女性の技術や技能の向上の促進

<建設5団体及び国交省の取組>

(国土交通省)

- 次世代を担う女性リーダー層に向けた研修を実施

ロールモデルとなる女性向けに、建設業に特化した研修を実施。

- 女性活躍に取り組む企業への支援

経営者等が抱える女性の入職・定着に係る具体的な課題を相談窓口にて受け付け、専門家による課題解決の支援を実施。

- H26年度より全国各地で、女性技術者の登用を促すモデル工事を公告・実施

- 業界で活躍する女性を建設マスター等で表彰

- 建設業で活躍する女性による大臣表敬

地域や現場における女性活躍推進の取組を報告。



女性向けの研修実施



大臣表敬

4. 建設業での女性の活躍の姿を広く社会に発信する

- (1) 女性の活躍に関する情報発信
- (2) 女性の活躍を支援する地域ネットワークの構築

<建設5団体及び国土交通省の取組>

(日建連)

- 国土交通省の「学校キャラバン」への出展協力
- 「けんせつ小町工事チーム」登録制度
建設現場で働く女性を広く認知してもらうため、工事チームを登録（2019年2月末で255チームを登録）。
- けんせつ小町に関する活動についてHPで公開。
- 「建設産業女性活躍ネットワーク」への参画の他、国、地方自治体の要請による意見交換会やパネルディスカッションに参加。
- けんせつ小町セミナーの開催、けんせつ小町フォーラムの開催
- 女子小中学生向けのけんせつ小町活躍現場見学会の開催
夏休み期間に開催し、4年で61か所、参加した子供は延べ894名。
- 「技能者STORY」の公開 建設業で働く女性技能者をPR。



日建連「けんせつ小町工事チーム」



日建連「技能者STORY」

(全建)

- 「建設業における女性の更なる活躍のために」女性活躍応援フォーラムを開催。
- 「建設業における女性活躍フロンランナー全建ジャーナル誌上座談会」
- 「建設業における女性の更なる活躍のために」パネルディスカッション開催



(全中建)

- 全国の会員団体傘下会員企業の女性に対し、インタビュー形式で原稿を頂き、毎号掲載し地域性も含めて女性ならではの視点とご本人を紹介。
- 2018年度に建設業で働く女性の定着促進のための、中小建設業者の経営者・管理者等向けの講習会を開催。



全中建「経営者・管理者等向けの講習会」

(建専連)

- 女性技能者をDVD等に積極的に出演させ、内装工事業界の魅力ややり甲斐、環境改善をアピールし、一人でも多くの女性技能者入職を促進する。
- 建設専門業の社会的経済的地位向上に関する啓発として、講演、パネルディスカッション等を盛り込んだ全国大会を実施。



建専連「全国大会パネルディスカッション」

(建産連)

- ふくしま女性活躍応援会議
2016年7月から、県知事と県内の様々な分野の団体の長により運営され、官民一体となっており、あらゆる分野で女性が活躍できる環境づくりに取り組み、「イクボス宣言」をはじめ、セミナー開催、アドバイザー派遣、出前講座、次世代育成支援企業認証などを行っている。
- 2016年度、経営者や管理職を対象に、女性社員の採用や女性の職域拡大・定着等を進めるための研修「建設産業の女性活躍推進“実践”セミナー（埼玉県）」を開催。
- 2016年度、建設産業で働く女性同士で悩みや課題を共有しながら企業を超えたネットワークづくりを行う場として、「建設産業女性技術者ネットワーク交流会（埼玉県）」交流会を開催。
- 2019年2月、建設業で働く女性の方の交流と活動について「女性技術者交流会（三重県）」を実施。

（建産連）

- 2019年2月、先進的な取組や滋賀県における女性活躍の取組みを紹介したうえで、滋賀県内企業における実態や課題、先進的な取組の導入可能性、新たな提案などを論議していただき、今後の女性技術者活躍への取組に反映させることを目的に「滋賀県女性技術者意見交換会」を開催。
- 広報誌による情報発信（長崎県）
2015年度から、労働局とのタイアップ企画「今こそ！建設業第5版」の発行。女性活躍にフォーカスした頁を設け、建設現場で活躍する女性の紹介・インタビューや前記WGやネットワークの活動状況を掲載。ハローワーク、県内高校・大学等に配布。
- 女性活躍推進対策（WG、ネットワーク構築、現場見学会・WS）（長崎県）
産学官連携建設業人材確保育成協議会（中心事務局：県建産連）の下に、女性が活躍できる環境作りにおける課題を女性の視点で解決していくため、2016年度に部会：「女性活躍推進検討WG」を設置。併せて女性ネットワークを構築し、現場見学会・ワークショップ等を開催。
ネットワーク名称：「ながさき建設女子ネットワーク～よりより～」

（国土交通省）

- ポータルサイト「建設産業で働く女性がカッコいい」を開設し、女性活躍推進に関する情報を発信
- よしもとの人気芸人による女性活躍応援キャンペーンを全国各地で展開
- 女性技術者・技能者が子供霞ヶ関見学デーや学校キャラバンに参加し建設業の魅力をPR



建設業における女性活躍応援キャンペーンについて [平成28年度予算事業] 国土交通省

これから自分の進路を決めようとする女性・若者等に、建設業の魅力を発信するため、「よしもと」の人気芸人「おかずクラブ」を中心に、全国各地でキャンペーンを実施する。

- ① 「おかずクラブ」の結成 (おかずクラブ)
「おかずクラブ」をメインキャラクターに、現在建設業で活躍、あるいはこれから就業しようと考えている女性等と一緒に「おかずクラブ」を結成。記者会見を開催。
- ② 活躍する女性をインタビュー、建設現場での作業体験
● 全国47都道府県の「住みます芸人」が、自分たちの住んでいる都道府県から1人ずつ、建設業の最前線で活躍する女性を探し出しインタビュー
● 「おかずクラブ」や女性芸人が、実際の建設現場で作業を体験
● インタビューや現場体験を踏まえ、建設業の魅力をより出すキャッチフレーズを考案
- ③ 建設業の魅力を発信
● 各種イベント（よしもと主催・協力イベント、劇場、建設業界のイベント等）で、「おかずクラブ」が参加してブースを出展し、プロモ映像・ポスター等を提示し、体験ワークショップを開催
● 「住みます芸人」が、各都道府県の高校・高等専等に赴く
● WEBも活用等 (10月13日～16日：京都国際映画祭 10月23日：日本女子博覧会などに出席予定)
- ④ 他産業との連携等
● これまで男性中心という印象が強かった他産業で活躍する女性を集めたディスカッションを開催
他産業の創意工夫や、使えるアイデアを建設業に取り込む等